

7 月度支部役員会議事録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成30年7月27日（金） 15:00～17:30

会 場：支部会議室Ⅱ（閲覧・会議室）

出席者 三輪支部長

常 議 員 角 田、 牧 、 松 原
神 澤、嘉 村、園 田、橋 寺、安 福

支部監事 安 野

事 務 局 児 玉

【審議事項】

（1）前回議事録（案）確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

（2）理事会、支部長会議報告の件

- 支部長より、7月23日(月)に開催された理事会および支部長会議の報告が行われた。理事会の主な報告としては、「就職活動時期に関する要望書提出について」、「日本建築家協会との「平常時及び災害時における歴史的建造物の調査及び情報共有等に関する協力協定」の更新について」、「2019年度大会（北陸）の大会委員会・実行委員会委員の委嘱について」、「2018年（第29回）日本建築学会「優秀卒業論文賞」および「優秀修士論文賞」選考結果報告」、「大阪北部地震被害調査速報会の開催について」、「2018年度竹中育英会建築研究助成交付報告」、「2019年日本建築学会文化賞候補業績の推薦依頼」、「北陸支部70周年記念誌」について」、「賞のあり方について」、「建築士資格制度と大学教育について」、「建物保存活用要望に関わる対応について」、「災害による建築物被害発生時の対応について」、「建築アーカイブネットワークの提案」などであった。支部長会議の主な報告としては、フリートーク形式により話された「法人・賛助会員の増強について」、「男女共同参画に関する事業への協力について」などであった。

（3）本部学術推進委員会報告の件

- 委員会開催日の7月6日は、悪天候のためJR線が運転取りやめとなり、代理出席を予定した支部役員も参加できなかった。
- そのために、委員会の議案書類を役員会に提出して、役員各自で議案内容の確認をした。

（4）支部報告 1. 事業報告 2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。

(5) 当支部研究委員会（7月27日 14時～15時 開催）の報告

○優秀発表賞の候補者について

○来年度の近畿支部研究発表会実施に伴う検討結果の報告

○今後の研究委員会活動の日程について

- 牧常議員（当支部常務学術幹事/研究委員会委員長）より、役員会の前に開催した委員会で審議された、3件の議題に関して報告があった。
- 今年度の研究発表会優秀発表賞の受賞候補者として、22名を役員会へ上程することが認められた。
- 来年度の研究発表会は、6月22日(土)、23日(日)に本年度と同様に開催することが話し合われた。
- 委員会の今後の活動として、第2回研究委員会を12月度役員会(12/21(火))の前に開催することが話し合われた。また、来年度の研究発表会プログラム編成会議は、3月19日(火)10時から開催することが話し合われた。
- 役員会では、報告のあった内容のすべてについて審議のうえ承認された。

(6) 2019年日本建築学会教育賞(教育業績)推薦依頼の件

- 支部長および事務局から本部に推薦するまでのスケジュールについて説明があった。
- 各役員は、次回(9月度)役員会までに事務局へ候補者を推薦することとした。
(本部への推薦締切日：2018年10月5日(金))

(7) 2019年日本建築学会文化賞候補業績推薦の件

- 支部長から、候補者を検討するよう役員に対し指示があった。遅くとも11月度支部役員会までには候補者を決定することとして、次回役員会以降の継続審議とした。
(本部への推薦締切日：2018年12月10日(月))

(8) 2019年日本建築学会大賞業績候補推薦の件

- 支部長から、候補者を検討するよう役員に対し指示があった。遅くとも12月度支部役員会までには候補者を決定することとして、次回役員会以降の継続審議とした。
(本部への推薦締切日：2019年1月21日(月))

(9) 2019年度 大会研究集会のテーマ立案の件

- 当支部の常置研究部会(25部会)にテーマ案を検討していただき、所定の書類にて本部へ回答していただくよう事務局から連絡することとした。

(10) 建物保存活用に関する要望書の提出について

「和歌山大学松下会館（渡辺節設計／1961年竣工）」

- 近代建築部会より、要望書類の原案については来月度の役員会に提出されるとの連絡があった。

(11) 当支部材料・施工部会からの委員会設置申請の件

設置理由：「暑中コンクリート工事における対策マニュアル」改訂のため

- 当支部材料・施工部会の山崎主査から書面にて依頼のあった件に関しては、席上にて審議された結果、部会内に委員会を設置することについては承認された。

(12) 協賛名義借用依頼の件

- 次の協賛名義借用事業については承認することとした。

①宅地地盤の品質評価に関する技術講習会

- 期 日 8月24日
- 会 場 ドーンセンター
- 主 催 地盤工学会関西支部

(13) 後援名義借用依頼の件

- 次の後援名義借用事業2件については承認することとした。

①省エネ適判の実務を学ぶ講習会

「モデル建物法入力シート作成～機械設備編～」と「申請・検査のポイント」

- 期 日 9月12日
- 会 場 大阪府建築士会 会議室
- 主 催 大阪府建築士会

②セメント系固化材の基礎知識セミナー

- 期 日 2月20日
- 会 場 大阪国際交流センター(大阪市天王寺区)
- 主 催 セメント協会

(14) 今年度の当支部主催事業の検討

- 角田常議員(当支部常務事業幹事)より、当支部事業幹事会担当役員への相談を経て、今年度の当支部事業として以下の2件を開催することが提案された。
- 報告内容については、席上にて承認された。

①シンポジウム「大振幅地震動に対する建築基礎構造の設計法を考える」

実施母体：当支部耐震構造研究部会

開催日時：11月13日(火)13時～17時

②「銅スラグ細骨材の建築用コンクリートへの適用性に関する研究」終了報告

実施母体：委託調査研究特別委員会(当支部材料・施工部会の主要メンバーで構成)

開催日時および開催形式は未定

(注)作業の進捗状況によっては、「暑中コンクリート工事における対策マニュアル」の改訂内容についても発表する予定。

【報告事項】

(1) 研究発表会終了に伴う収支報告の件

- 今回の発表会収支に関しては、暫定収支として30万円(前年度は45万円)程度の剰余が発生する見通しであることが事務局より報告された。
- 剰余額が減少傾向にあるため、適切な対策が必要となってくるのが事務局から報告された。

(2) 設計競技支部審査結果報告の件

- 事務局より、今回応募のあった46作品は7月12日に開催された当支部審査会の結果、11作品が支部入選に決定したとの報告があった。

(3) 大阪北部地震被害調査速報会の終了報告

- 7月25日(水) 13時～15時に大阪科学技術センター4階401号室において開催された速報会は、230名の参加を得て終了した。
- 報告会の内容および収支などについては、三輪支部長および牧常議員、事務局から報告があった。
- 報告会終了後には市民フォーラムの開催について、当支部耐震構造研究部会の林主査(大阪北部地震災害対応特別委員会委員長)および関係の研究者に加えて当支部役員など、合計8名で開催内容について検討されたことも合わせて報告された。

(4) 今年度の当支部親と子の都市と建築教室に関する件

①第18回 まちをつくろう「すま城のまわりにまちをつくろう！」(8/4(土)、8/5(日))

②第16回 京町家の伝統技術を学ぶ(8/18(土))

- 当支部親と子の都市と建築教室拡大実行委員会の松原常議員(全体委員長)より、親と子の都市と建築教室の事業として開催する、「まちつく2018」および「京町家の伝統技術を学ぶ」の開催内容について説明が行われた。

(5) 委託調査終了に伴う報告書の提出

①ダブルスキンに作用する風圧力とバルコニー風環境効果に関する研究

②外部階段飾り壁に作用する風圧力に関する風洞実験調査

- 調査研究期間が終了したことに伴い、当支部風環境調査研究委員会と委託者で纏められた調査研究の成果報告書が提出された。
- 成果報告については、席上にて回覧のうえ確認された。

以上